

2020/03/11(水)12:43

授業科目名	社会学概論		授業形態	講義
英語科目名	Introduction to Sociology		開講学期	前期
対象学年	1		単位数	2
科目責任者	大槻 茂実		ナンバリング	3101
科目担当者				
大槻 茂実				
授業の概要				
<p>「先生、そもそも社会学ってどういう学問なんですか？」これは、学生から受ける回数が最も多い質問の1つである。たしかに、同じ社会科学に属する経済学や法学などとくらべて、社会学は大学生にイメージしづらいのかもしれない。本授業では、社会学的な視点・考え方を習得し、社会学とはどのような学問であるのかを理解する。</p> <p>歴史的に見れば、18世紀以降の大きな社会変動を目の当たりにした時、その社会変動を冷静かつ適切に読み取ることが望まれてきた。そして、社会学は正にそうした要請から発達した学問であった。グローバル化と少子高齢化が進む現在の日本社会も、社会変動の渦中にあるといえる。そうであるとすれば、日本社会を読み解く上で社会学的なものの方が現在強く求められていることが容易に想像できよう。</p> <p>本授業では、社会学の成立から現代までの流れを概観しながら、社会学の基礎的な概念と社会学的な視点・考え方を学ぶ。その上で、現代社会を生きる人間として必須の教養とは何かを理解する。</p> <p>社会学の特徴の1つとして扱う研究テーマの広さが挙げられる。本授業ではそのすべては扱うことはしないが、代表的な研究テーマを紹介する。そうした研究テーマについての理解を通して、受講生は社会学のエッセンスを掴み、社会学とはどのような学問であるのかをしっかりと理解する。</p>				
授業の達成目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会学とはどのような学問であるのかを自分の言葉で説明できるようになる。</li> <li>2. 社会学的な視点・考え方を習得し、社会の様々な現象を社会学的に捉えるための基礎力を身につける。</li> <li>3. 社会学の基礎的な概念の学習を通して、大学での専門知識の習得が現代社会でいかに役立つかを理解する。</li> </ol>				
成績評価方法				
通常課題(毎回WEBに入力する予習・復習)と定期試験により評価する。評価基準は通常課題60%、定期試験30%、総合判定10%。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎回の資料はWEB上にアップするので、必ずアクセスして授業・課題に取り組むこと。</li> <li>2. 予習・復習の記入内容等は、匿名化した上でJ-pass上にアップすることがある。このことをあらかじめ知っておくこと。</li> <li>3. 学生の理解度により授業内容や授業構成が変更されることがある。このことをあらかじめ知っておくこと。</li> </ol>				
テキスト・参考書				
随時指示する。				
オフィスアワー				
基本は月曜日12:10~12:50。時間外でも対応します。ただし、いずれの場合も必ずメールでアポをとってください。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
J-passのクラスプロフィール機能を使用して行う。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	大槻 茂実	<p>初回ガイダンス (1)授業計画や資料がアップされているWEB(URL)へのアクセス方法を説明する。 (2)予習・復習をWEB入力するための方法、メール送信時の注意事項等を説明する。</p>	<p>【予習】シラバスの記載内容を確認しておく。(90分) 【復習】「学習すること」についてまとめ提出する。(90分)</p>	

		(3)授業の進め方について説明する。 (4)「学習すること」について考える。	
2	大槻 茂実	近代社会学の系譜①-19世紀の社会学  社会学が産声を上げたのは1838年であり、現在に至るまで200年も経っていない。したがって、比較的「若い学問」といえる。実は、そのことが社会学を知る鍵でもある。この回では、特に19世紀の社会学を中心にその歴史的概要を学ぶ。	【予習】フランス革命の概要を調べて提出する。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。(90分)
3	大槻 茂実	近代社会学の系譜②-20世紀以降の社会学  前回の内容を踏まえて、この回では20世紀の社会学の歴史的概要を学ぶ。特に初期シカゴ学派の研究を概観しながら実証研究としての社会学とは何かを学ぶ。授業の後半では第二の近代化といった現代的な社会学理論を学び、現代社会を見渡す上で社会学の理論的視座がいかに有用であるのかを知る。	【予習】シカゴという都市の歴史的概要を調べて提出する。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。(90分)
4	大槻 茂実	社会階級・社会階層論  今回から4回にわたって、不平等を扱っていく。特にこの回では社会階級・社会階層論を学ぶ。そもそもなぜ社会学は不平等に関心を払うのか。不平等をとらえる学問的意義をしっかりと理解する。その上で、人々の地位の序列構造がどのように形成・維持されるのかを学ぶ。	【予習】人々を序列的に捉える時、何を基準としているか、自分の考えを論述し提出する。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。(90分)
5	大槻 茂実	ジェンダーと家族  この回では、ジェンダーと家族に着目する。なぜ社会学はジェンダーや家族に着目するのかを理解する。その上で、「ガラスの天井」と揶揄されるジェンダーによる序列関係や、家族生活を通じた現代社会の人々の関係性を検討する。	【予習】性差とジェンダーの違いとは何か？なぜ社会学においてジェンダーと家族が重要であるのかを論述し提出する。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。(90分)
6	大槻 茂実	人種・民族・国籍  この回では、人種・民族・国籍に着目する。日本社会でも外国にルーツを持つ人々との共生が重要な課題となっている。人種・民族・国籍が異なる人々の関係性を捉えることが、社会学のみならず、広く国際教養を学ぶという意味でも重要な意味をもつことを知る。	【予習】前回の授業内容を踏まえて、なぜ社会学において人種・民族・国籍が重要であるのかを論述し提出する。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。(90分)
7	大槻 茂実	都市  都市も現代社会の不平等を把握する上での重要な概念である。都市間競争は世界規模で起きており、その歪みは	【予習】住みたい都市No1がどこか、なぜその都市が魅力的であるのか、自分の考えを論述し提出する。(90分)

		様々な形で我々の日常生活に表れている。この回を通して、ジェントリフィケーションといった都市にかかわる社会現象に対する理解を深める。	【復習】授業内で提示された課題をこなす。(90分)
8	大槻 茂実	中間まとめ ここまでの回の講義内容を整理する。一つ一つの回での主な内容を整理した上で、それぞれの個別テーマに共通する社会学の視座をしっかりと把握することがこの回の主な目的である。	【予習】これまでの授業で扱った社会学の対象を整理し提出する。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。(90分)
9	大槻 茂実	社会学の方法論①量的アプローチと質的アプローチ これから2回にわたって、社会学の方法論について学ぶ。社会学においては適切な社会調査とデータ分析を通して社会を捉えることが重要視される。第9回では社会調査における2種類のアプローチ(量的アプローチと質的アプローチ)の特徴を学ぶ。	【予習】自分という人間がどのような性格であるか他者にわかるように記述し提出する。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。(90分)
10	大槻 茂実	社会学の方法論②量的調査法と質的調査法の実際 第10回では、前回の授業で学んだ社会調査が研究の世界や一般社会でどのように実践されているのかを学ぶ。授業を通して、適切な社会調査と適切なデータ分析を行うことの重要性和そうしたスキルに対する社会的ニーズの高さを知る。	【予習】自分自身がどのような社会現象に関心があるのか、その関心が社会的であるかを論述し提出する。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。(90分)
11	大槻 茂実	官僚制・組織 第11回では官僚制と組織を社会的に捉える。なぜ社会学は官僚制と組織に着目するのか。この理由を知ること社会学とはどのような学問であるのかを理解することにつながる。特に授業では「合法的支配」をはじめとした「支配三類型」について学ぶことで現代社会を構造的に捉える視座を得る。	【予習】日常生活における「手段の目的化」の例を調べ、その内容を提出する。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。(90分)
12	大槻 茂実	「個人化」される社会 現代社会における人々の関係性を照射する概念として「個人化」への注目が高まっている。「個人化」は家族、職業生活、地域社会などあらゆる場面におよぶ。「個人化」を学ぶことを通して、これまでの授業で示してきた社会学概念の再考をする。	【予習】モンスターペアレントとはどのような親であるのか調べ、その結果を提出する。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。(90分)
		コミュニティとアソシエーション コミュニティとアソシエーションという2種	

13	大槻 茂実	<p>類の社会集団の違いを理解することは、地域社会をはじめとした我々の日常世界を体系的に理解することにつながる。この回では町会・自治会といった身近な地域組織についての考察も行う。</p>	<p>【予習】自分の住んでいる地域の自治会・町内会について調べ、その結果を提出する。(90分)</p> <p>【復習】授業内で提示された課題をこなす。(90分)</p>
14	大槻 茂実	<p>社会学の応用可能性-共助型社会の実現</p> <p>社会学は、望む望まざるを別として当該の社会がどのような社会であるのかを捉える基礎科学である。それと同時に、その社会をより良いものに導き得る応用科学でもある。第14回では、社会学の一般社会での応用可能性について学び、社会学を通じた学びが大学を卒業した後も役に立つことを知る。</p>	<p>【予習】自助、共助、公助とは何かを調べ、その内容を提出する。(90分)</p> <p>【復習】授業内で提示された課題をこなす。(90分)</p>
15	大槻 茂実	<p>本授業のまとめ</p> <p>これまでの授業の内容を概観する。各回で説明した社会学の鍵概念を通して、社会学をとどのような学問であるのかを把握する。その上で、これから大学で国際教養を中心とした専門的な学びを行うことにどのような意義があるのかを知る。</p>	<p>【予習】これまでの授業の内容を整理する。(90分)</p> <p>【復習】授業内で提示された課題をこなす。(90分)</p>

2020/02/26(水)10:15

授業科目名	数学で考える		授業形態	講義
英語科目名	Basic Mathematics		開講学期	前期
対象学年	1		単位数	1
科目責任者	川村 浩之		ナンバリング	3102
科目担当者				
川村 浩之				
授業の概要				
数学は理系文系を問わず様々な現象を数量的に分析する際に不可欠である。この講義では、様々な分野で数学的手法を用いる際に基礎となる数学を概観するとともに数学の魅力・面白さに触れる。				
授業の達成目標				
1. 様々な関数の性質とグラフ、それらの応用例を学ぶ。 2. 確率的な思考の概要を理解する。 3. 数理モデルやゲーム理論における論理的思考法を習得する。				
成績評価方法				
授業態度・取り組み姿勢30%、課題レポート20%、筆記試験50%にて評価する。 ただし、レポート(2000字以上)未提出の場合は試験を受けることが出来ません。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
高校で数学が苦手だった人も新たな気持ちでまじめに取り組めば理解できる内容です。 少人数でどんどん当てていきますので、授業に積極的に参加するつもりで受講して下さい。				
テキスト・参考書				
プリントを授業の時に配布する。				
オフィスアワー				
授業の前後を基本とする。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
授業内で課題の答え合わせを行う。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	川村 浩之	関数とグラフ 関数の概念とグラフの意味を理解する。関数と方程式、不等式の関係を学習する。	【予習】 方程式・不等式とグラフの関係について復習しておく。(90分) 【復習】 授業で出題された練習問題を解く。(90分)	
2	川村浩之	指数関数 簡単な指数計算をマスターし、急激な変化を表す指数関数とその性質について学習する。	【予習】 指数の定義と計算ルールを調べる。(90分) 【復習】 授業で出題された練習問題を解く。(90分)	
3	川村浩之	数理モデル 様々な現象や事物の関係を数式で表し、予測等に応用される数理モデルについて学習する。	【予習】 数理モデルとはどのようなものか調べる。(90分) 【復習】 授業で出題された練習問題を解く。(90分)	
4	川村浩之	確率とはなにか？ 確率の概念を改めて見直し、様々な誤謬について考える。	【予習】 「偶然とはなにか？」についてこれまでの経験に基づいて考察する。(90分) 【復習】 授業で出題された練習問題を解く。(90分)	
5	川村浩之	確率と期待値 様々な事象の確率と期待値、それらの	【予習】 確率論でいうところの「期待値」の意味を調べておく。(90分) 【復習】	

		実用的な応用について学習する。	授業で出題された練習問題を解く。(90分)
6	川村浩之	数列 数列、数列の和の計算や数学的帰納法について学ぶ。また、単利・複利計算などの応用について学習する。	【予習】 単利計算と複利計算について調べておく。(90分) 【復習】 授業で出題された練習問題を解く。(90分)
7	川村浩之	関数の微分 極限や微分の概念について学習し、簡単な関数の微分計算の技術を習得する。	【予習】 瞬間速度の意味を考察する。(90分) 【復習】 授業で出題された練習問題を解く。(90分)
8	川村浩之	ゲーム理論入門 囚人のジレンマなどの有名な問題を例に論理的な意思決定の方法について学習する。	【予習】 ゲーム理論とはなにか、調べておく。(90分) 【復習】 授業で出題された練習問題を解く。(90分)

2020/02/26(水)15:17

授業科目名	現代社会における物理学		授業形態	講義
英語科目名	Physics in Modern Society		開講学期	前期
対象学年	1		単位数	1
科目責任者	伊知地 国夫		ナンバリング	3103
科目担当者				
伊知地 国夫、初田真知子				
授業の概要				
現在の世界規模の論点として、環境問題、宇宙進出、放射線、先端医療などが挙げられる。本講義では、これらの問題の物理的な側面を理解することを目的として、物理の基本法則をできるだけ体感するため、実験・観察を中心とした授業を行う。身の回りの現象を物理法則の表れであることを確認しながら、多様な現象の本質を見出す過程を学ぶ。同時に論理的に考え、意見交換を行う練習とする。				
授業の達成目標				
1. 静力学の基本法則を理解し、人体の物理に適用することができる。 2. 動力学の基本法則を理解し、宇宙の物理に適用することができる。 3. 熱力学および音・光の基本法則を理解し、環境に関する物理に適用することができる。 4. 電磁気学の基本法則を理解し、放射線に適用することができる。 5. 自然科学の背景や、使用する物理量の単位が、国際的に異なっている事を理解する				
成績評価方法				
①授業の討論・実験への参加(30%)、②課題レポート(30%)、③期末試験(40%)について総合評価				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
授業参加を重要視します。参加形態としては、①授業中の討論や実験への参加、②課題レポートなど、各自の得意な形態で、積極的に参加すること。				
テキスト・参考書				
適宜紹介する。				
オフィスアワー				
授業の前後とする。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
授業内で適宜返却する。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	伊知地国夫 初田真知子	「人体の物理」(静力学1) 人体の重心はどこだろう?	【予習】 重心の意味と、人体の重心測定方法をいくつか考えておく(90分) 【復習】 力のつり合い、力のモーメントのつりあいを復習(90分)	
2	伊知地国夫 初田真知子	圧力(静力学2) 人の体にかかる大気圧 大気圧と水圧	【予習】 大気圧について調べておく。圧力の単位Paを確認(90分) 【課題レポート①】 指定された課題のレポート作成。(90分)	
3	伊知地国夫 初田真知子	重力(動力学) 物の重さと質量、重力加速度 等速直線運動と加速度運動 宇宙での物の動き	【予習】 質量と重さの違いを調べておく。長さの単位、inch,feetなどの確認。 (90分) 【復習】 等速直線運動、加速度運動について復習。(90分)	
4	伊知地国夫 初田真知子	熱(熱力学) 熱量の単位、温度の単位 熱の本質 熱エネルギーの変換	【予習】 Celsius,Fahrenheitなどの温度の単位を確認。温暖化について調べておく(90分)。 【復習】 いろいろなエネルギーについて復習(90分)	

5	伊知地国夫 初田真知子	光(光学) 光源の種類とスペクトル 物の色は何で決まるか 光の屈折、反射、直進、干渉、回折	【予習】 光の屈折の仕組みと虹のでき方を調べておく。(90分) 【課題レポート②】 指定された課題のレポート作成。(90分)
6	伊知地国夫 初田真知子	音(音響学) 音の発生 音階、音色、うなり、共鳴、楽器	【予習】 人の聞こえる音の高さ、音色を調べておく。周波数の単位Hzの確認(90分) 【復習】 音の周波数、音色について。(90分)
7	伊知地国夫 初田真知子	磁力(電磁気学1) 電流と磁力 電磁石の利用	【予習】 身の回りの磁石の利用を考えておく。(90分) 【課題レポート③】 指定された課題のレポート作成。(90分)
8	伊知地国夫 初田真知子	放射線(電磁気学2) 放射線の正体とは 原子力発電	【予習】 放射線、原子力発電について調べておく。(90分) 【復習】 放射線の種類、特徴、単位について復習(90分)



2020/02/21(金)14:16

授業科目名	哲学		授業形態	講義
英語科目名	Philosophy		開講学期	後期
対象学年	1		単位数	2
科目責任者	渡辺 大地		ナンバリング	3104
科目担当者	渡辺 大地			
授業の概要	<p>私が見ている世界と他人が見ている世界ははたして「同じ世界」なのか？ 自分以外の人間に「心」はあるのか？いま自分は夢を見ているのではないとどうして言えるのか？ こうした素朴であるが深遠な疑問は、古代ギリシア以来、哲学の基本課題である認識や存在、あるいは論理の問題と関連づけられ、現在に至るまで脈々と問いつけられている。</p> <p>本講義では、プラトンやアリストテレス以来、哲学が検討し続けているこうした事柄について、それぞれの時代、哲学者によってどのように思索が展開されてきたのかを見ていく。また、哲学的な検討だけでなく、そこで問われている論点がどのような現代的意義を持っているのか、どのように議論が展開されていったのかも確認する。そうすることで、哲学的な思考を理解し、自分でもそうした思考を実践できるようにすることが狙いである。</p>			
授業の達成目標	<p>1 哲学における代表的な考え方を理解し、哲学的に物事を捉える基本的な枠組みを身につけることができる。</p> <p>2 われわれの生活の基盤を捉え返し、自分の世界観を確認することができる。</p> <p>3 自分が考える「常識」や「確かさ」が何に由来するのかを理解できる。</p> <p>4 その上で、いままで出会ったことのない、自分とは異なるもの、他なるものに直面しても、そこで偏ることなく、明確な視点から合理的にその対象と向き合うことができる。</p>			
成績評価方法	<p>1 成績評価方法 期末テスト(100%)</p> <p>2 成績評価基準</p> <p>① 各項目に関する正確な知識を習得できているか</p> <p>② 各テーマに関する自分の考えを提示できているか</p>			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	<p>とくに前提として履修しておく科目はない。</p> <p>いままでの人生で疑問に思ったことで、周囲の人間は誰もそのことを疑問に思っていないように思われる場合、それは哲学的問題である可能性が高い。そうした疑問を自分が抱えていないかどうか自己分析しておくこと、より主体的に、興味をもって受講できる。</p>			
テキスト・参考書	<p>テキストは用いず、毎回プリントで資料を配布する。参考図書、関連図書に関しては、授業内で適宜指示する。</p>			
オフィスアワー	<p>授業の前後1時間程度。</p>			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	<p>授業内で適宜返却する。</p>			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	渡辺 大地	<p>オリエンテーション</p> <p>・ 授業の進め方、評価の方法などについて説明する。</p> <p>・ 哲学とは何かについての概説を行う。</p>	<p>予習:「哲学」についての自分のイメージをまとめる(90分)。</p> <p>復習:哲学とはどのようなものか、授業で聞いた内容を踏まえて、改めてまとめておく(90分)。</p>	
2	渡辺 大地	<p>ギリシアの哲学(1)</p> <p>・ ソクラテス・プラトン</p> <p>・ アイデア論</p> <p>「この世界を超えたところに理想の世界はあるのか？」</p>	<p>予習:配布プリントの確認(90分)</p> <p>復習:ソクラテス、プラトンの思想を整理する(90分)。</p>	
		<p>ギリシアの哲学(2)</p> <p>・ アリストテレス</p>	<p>予習:配布プリントの確認(90分)</p>	

3	渡辺 大地	・ 目的論的世界観 「世界は何らかの目的に向かっているのか？」	復習:目的論的世界観の確認(90分)
4	渡辺 大地	近代の哲学(1) ・ デカルト(1) ・ 方法的懐疑 「すべてを疑うことは可能か？」	予習:配布プリントの確認(90分) 復習:デカルトの論証の検討(90分)
5	渡辺 大地	近代の哲学(2) ・ デカルト(2) ・ 心身二元論と機械論的自然観 「心と身体とはどう関係するのか？」	予習:配布プリントの確認(90分) 復習:「自然」とは何かを考える(90分)。
6	渡辺 大地	近代の哲学(3) ・ イギリス経験論(1) ・ ロック ・ ヒューム 「因果法則は存在するのか？」	予習:配布プリントの確認(90分) 復習:ロックの知識論、ヒュームの因果律否定の論拠を整理する(90分)。
7	渡辺 大地	近代の哲学(4) ・ カント ・ 批判哲学の展開 「われわれの認識に限界はあるのか？」	予習:配布プリントの確認(90分) 復習:カントの認識論の枠組みを整理する(90分)。
8	渡辺 大地	近代の哲学(5) ・ ヘーゲル ・ 理性の哲学 「真理は段階的なものなのか？」	予習:配布プリントの確認(90分) 復習:弁証法とは何かを確認しておく(90分)。
9	渡辺 大地	近代の哲学(6) ・ 実存思想(1) ・ キルケゴール 「自分にとっての真理こそが絶対なのか？」	予習:配布プリントの確認(90分) 復習:キルケゴールの「実存」の現代的意義を考える(90分)。
10	渡辺 大地	近代の哲学(7) ・ 実存思想(2) ・ ニーチェ 「すべては相対的なのか？」	予習:配布プリントの確認(90分) 復習:「遠近法主義」の現代的意義を考える(90分)。
11	渡辺 大地	現代の思想(1) ・ プラグマティズム ・ パース 「行為と思考は切り離せないのか？」	予習:配布プリントの確認(90分) 復習:「実際の効果」の現代的意義を考える(90分)。
12	渡辺 大地	現代の哲学(2) ・ ウィトゲンシュタイン ・ 言語ゲーム 「規則は行為を決定できるのか？」	予習:配布プリントの確認(90分) 復習:「規則」についての確認(90分)
13	渡辺 大地	現代の哲学(3) ・ フッサール ・ 現象学の基本的な思考法 「主観へと方向転換した哲学はそもそも可能なのか？」	予習:配布プリントの確認(90分) 復習:現象学とは何かを考える(90分)。
14	渡辺 大地	現代の哲学(4) ・ 分析哲学(1) 「こころの哲学」の諸問題 「主観的意識(クオリア)は科学的に説明可能か？」	予習:配布プリントの確認(90分) 復習:現代における「こころ」の分析を整理する(90分)。
15	渡辺 大地	現代の哲学(5) ・ 分析哲学 ・ 言語論的転回 「言語の分析によって哲学的問題は解決可能か？」	予習:配布プリントの予習(90分) 復習:言語と哲学との関係をまとめる(90分)。

2020/02/21(金)13:56

授業科目名	音楽に親しむ		授業形態	講義
英語科目名	Music		開講学期	後期
対象学年	1		単位数	2
科目責任者	寺島 慶子		ナンバリング	3105
科目担当者	寺島 慶子			
授業の概要	音楽の全般的な知識を、西洋音楽史を通して学び、理解を深め、鑑賞力を高めることを目標とする。また音楽の歴史的役割から芸術作品として成長する過程を体感し、主要な作曲家の作品や生涯について知ることで、私達の日常にあふれる音楽のルーツを理解し、どのように音楽がグローバルに発展してきたかを学ぶ。音楽を実際に体験するために、オペラ、バレエ、ミュージカル等をCD、DVDで鑑賞しながら学ぶ。			
授業の達成目標	理解が難しいと敬遠されがちなクラシック音楽に親しみ、楽しむことで人生の友となる音楽作品に出会ってほしい。またこの授業を受講することで、個々の生活に音楽を取り入れ、心のケア、そして世界の人たちとのコミュニケーションのツールとして音楽を役立てて欲しいです。			
成績評価方法	授業内レポート(30%)、期末試験(70%)、なお3分の2以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	受講生は全授業に出席し、どのようなコンサートでも良いので自らも積極的に出かけてほしい。			
テキスト・参考書	テキストは使用せず印刷した資料を4回配布する。			
オフィスアワー	授業の前後とする。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	授業内で適宜返却する。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	寺島 慶子	音楽総論・音楽の誕生の謎	(予習)シラバスを熟読のうえ授業に臨むこと(90分) (復習)初回授業の振り返り(90分)	
2	寺島 慶子	古代の音楽・生活の中での音楽の果たす役割	(予習・復習共通) 自然界の音に耳を傾けよう。(各90分)	
3	寺島 慶子	宗教にみられる音楽の役割・心の求める音楽 VD、DVD鑑賞	(予習・復習共通) 教会を訪れ、その雰囲気味わう。(各90分)	
4	寺島 慶子	バロック時代・オペラ、器楽曲の台頭 CD、DVD鑑賞	(予習・復習共通) 身近にある楽器に触れてみよう。(各90分)	
5	寺島 慶子	古典派の音楽 I・「モーツァルトの生涯」のDVD鑑賞 一人の偉大なる音楽家の人生を通じ、絶対君主制時代の音楽家の生活と作品誕生の経緯を知る。	(予習・復習共通) 他の時代の音楽家の映画も鑑賞しましょう。(各90分)	
6	寺島 慶子	古典派の音楽 II・ベートーヴェン。宮廷から離れた音楽家の作品の特徴とその人生。CD、DVD鑑賞	(予習・復習共通) ベートーヴェンの「喜びの歌」を歌ってみよう。(各90分)	
7	寺島 慶子	ロマン派の音楽 I・文学・絵画の影響を受けた音楽家たちの作品の特徴。CD鑑賞	(予習・復習共通) 音楽を聴きながら曲に込められた話を想像しましょう。(各90分)	
		ロマン派の音楽 II (印象派)・色彩と音	(予習・復習共通)	

8	寺島 慶子	楽。日本文化の影響を受けた作品。CD鑑賞	美術館に行って印象派の絵画を鑑賞しましょう。(各90分)
9	寺島 慶子	近代・国民楽派 19世紀後半ロシアの作曲家の作品および東欧諸国の作曲家の作品の国民性に触れるCD鑑賞。	(予習・復習共通) この時代の作品でそのメロディーが歌になっているものを探しましょう。(各90分)
10	寺島 慶子	現代音楽・近代音楽 20世紀の音楽の響き、リズムを楽しむ。CD鑑賞	(予習・復習共通) ジャズを聞いてみよう。(各90分)
11	寺島 慶子	劇場音楽 I ・オペラDVD鑑賞	(予習・復習共通) 授業で鑑賞したオペラのストーリーを読みましょう。(各90分)
12	寺島 慶子	劇場音楽 II ・ミュージカル DVD鑑賞	(予習・復習共通) 実際にミュージカルを見に行きましょう。(各90分)
13	寺島 慶子	ダンス音楽・バレエ、モダンダンスDVD鑑賞	(予習・復習共通) 音楽とダンスの表現を見て聴いて比べてみましょう。(各90分)
14	寺島 慶子	映像音楽・ディズニーの試み 映像と音楽の結びつき DVD鑑賞	(予習・復習共通) 音を消して映像を見てみましょう。(各90分)
15	寺島 慶子	心と音楽・様々な音楽の使われ方。音楽の可能性 CD鑑賞	(予習・復習共通) 老人ホームなどでボランティア活動をししましょう。(各90分)

2020/02/21(金)14:33

授業科目名	倫理学	授業形態	講義
英語科目名	Ethics	開講学期	後期
対象学年	1	単位数	2
科目責任者	渡辺 大地	ナンバリング	3106
科目担当者			
渡辺 大地			
授業の概要			
<p>倫理学の最も根本的な課題の一つは、「よく生きる」という場合の「よさ」の明確化である。つまり、よい生き方とはどのような生き方なのか？そもそも万人が認めるべき「よい生き方」など本当に存在するのか？医療現場での問題や環境保護の問題なども、最終的にはこうした道徳的価値をどう考えるかに行きつかざるをえない。</p> <p>本講義では、道徳的価値に関する伝統的なアプローチを確認することから始める。先達の様々なアプローチを考察しながら、いまを生きるわれわれが考慮すべき論点を確認する。こうした一つひとつの確認が、複雑に絡み合った現在の倫理的課題を自分で解きほぐす足がかりになる。</p>			
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学説史を学ぶことで、倫理学に関する基本的な考え方を理解することができる。</li> <li>2 今日の倫理的な課題を学び、そうした課題の社会的背景を理解することができる。</li> <li>3 倫理と社会とのダイナミックな関係を理解することができる。</li> <li>4 人間の行為に関する「善い」「悪い」という判断の、決め手となる理論的背景を理解することができる。</li> </ol>			
成績評価方法			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 成績評価方法 期末テスト(100%)</li> <li>2 成績評価基準 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 各項目に関する正確な知識を習得できているか</li> <li>② 各テーマに関する自分の考えを提示できているか</li> </ol> </li> </ol>			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
講義の中で紹介する、「人を助けるためにウソをついても許されるか」などの非常に難しい倫理的問題について、自分で考えて自分なりの答えを出すようにしてほしい。			
テキスト・参考書			
テキストは用いない。各回プリントを配布し、それを基に講義を進める。参考図書は授業内で適宜指示する。			
オフィスアワー			
授業曜日の前後1時間程度			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
授業内で適宜返却する。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	渡辺 大地	オリエンテーション ・授業の進め方、評価方法などについて説明する。 ・倫理とは何かについての概説、倫理的な難問の紹介	・(予習)自分がイメージする「倫理学」をまとめておく(90分)。 ・(復習)授業全体の流れを確認し、授業に臨む姿勢を再確認する(90分)。
2	渡辺 大地	倫理の基本的な考え方を学ぶ(1) 古代ギリシアの倫理(ソクラテス・プラトン) ・「真の幸福」とは何か？	・(予習)正義／幸福とは何か自分なりに考えておく(90分)。 ・(復習)正義／幸福についてのソクラテス・プラトンの考えを整理しておく(90分)。
3	渡辺 大地	倫理の基本的な考え方を学ぶ(2) 古代ギリシアの倫理(アリストテレス)	・(予習)配布プリントを確認しておく(90分) 。 ・(復習)アリストテレスの現代的な意義についてまとめる(90分) 。
		倫理の基本的な考え方を学ぶ(3)	・(予習)配布プリントの確認(90分)。

4	渡辺 大地	近代の倫理(1. 社会契約説) ・社会契約は可能か？	・(復習)「社会契約」とは何かを整理しておく(90分)。
5	渡辺 大地	倫理の基本的な考え方を学ぶ(4) 近代の倫理(2. カント) ・自由意志は存在しうるのか？	・(予習)配布プリントの確認(90分) ・(復習)「自由意志」について自分なりに考えておく(90分)。
6	渡辺 大地	倫理の基本的な考え方を学ぶ(5) 近代の倫理(3. 功利主義) ・「よさ」とは「気持ちのよさ」なのか？	・(予習)配布プリントの確認(90分)。 ・(復習)功利主義について整理しておく(90分)。
7	渡辺 大地	日本の倫理思想 和辻哲郎の「間柄の倫理」の紹介	・(予習)配布プリントの確認(90分) ・(復習)和辻哲郎の倫理思想について整理しておく(90分)。
8	渡辺 大地	現代の倫理(1) 正義論:ロールズ・ノージック・マッキンタイア ・そもそも「正義」など存在しうるのか？	・(予習)配布プリントの確認(90分) ・(復習)「正義」に関する論争を整理する(90分)。
9	渡辺 大地	現代の倫理(2) 進化倫理学の紹介 ・科学の知見が倫理的判断の根拠になりうるのか？	・(予習)配布プリントの確認(90分) ・(復習)進化倫理学における「利己的」の意味をまとめる(90分)。
10	渡辺 大地	現代の倫理(3) レヴィナスと他者への責任 ・「私は他者の呼びかけに対する無限の責任を負う」というレヴィナスの見解を検討する。	・(予習)配布プリントの確認(90分) ・(復習)レヴィナスが言う「他者への責任」をまとめる(90分)。
11	渡辺 大地	応用倫理(1) 生命倫理の誕生とその諸問題	・(予習)配布プリントの確認(90分) ・(復習)生命倫理の課題についてまとめる(90分)。
12	渡辺 大地	応用倫理(2) 生命倫理における様々なアプローチ (パーソン論など)の紹介 ・人が人であるのは何によるのか？	・(予習)配布プリントの確認(90分) ・(復習)パーソン論について自分の考えをまとめる(90分)。
13	渡辺 大地	応用倫理(3) 環境倫理の誕生とその諸問題	・(予習)配布プリントの確認(90分) ・(復習)環境問題の基本構造を整理しておく(90分)。
14	渡辺 大地	応用倫理(4) 環境倫理における世代間倫理と経済格差の問題 ・未来に対する義務、貧しい人を助ける義務は存在するのか？	・(予習)配布プリントの確認(90分) ・(復習)先進国の役割を考える(90分)。
15	渡辺 大地	まとめ 結局、「よく生きる」とは？	・(予習)配布プリントの確認(90分) ・(復習)自分が考える「よく生きること」をまとめる(90分)。

2020/02/26(水)09:47

授業科目名	現代日本経済論		授業形態	講義
英語科目名	Contemporary Japanese Economy		開講学期	後期
対象学年	1		単位数	2
科目責任者	池永 尚嗣		ナンバリング	3107
科目担当者	池永 尚嗣			
授業の概要	<p>グローバル化の進展と情報・通信技術の進化に伴って、日本経済の変化は格段に速くなっている。世界とのかかわりも深く、米中貿易摩擦は間接的に日本経済に大きな影響を与えている。本講義では、日本経済の現状を解説するとともに、世界経済の特徴や動向に関して理解を深める。そのために必要なマクロ経済理論(基礎レベル)についてはその都度説明するが、単なる理論学習に終わらないために、実際の社会、政治動向も経済に関係する部分を中心に取り上げて考察する。</p> <p>具体的には、日本の金融の量的緩和政策や米中貿易、ブレグジットなどを取り上げ、問題点の説明と考察、今後の展開など現実社会の事象を講義に取り入れる。経済に関して、世界はすでに国境、時差がない状況にあり、株式、為替、金利などはマイクロ秒単位で取引され、その動きが世界の市場に波及し、それがまた新たな政策、企業動向を誘発している。こうした点を加味しながら、日本経済の未来を深く思考するため、海外主要国の経済や政策変更も題材として取り上げる。通信規格の、いわゆる「5G」問題を通じ、安全保障の世界にも言及する。</p> <p>毎回の講義内容は授業計画に基づくが、日産・ゴーン問題など日本と世界にかかわりがある経済事案が発生したときは、適宜、授業内容を変更する。</p>			
授業の達成目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎的なマクロ経済理論を理解し、経済学的な考え方を理解できる。</li> <li>2. 世界経済や日本経済の数値、データが意味するものを理解、説明できる。</li> </ol>			
成績評価方法	期末試験(85%)、出席・発言(15%)を想定			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	特になし			
テキスト・参考書	<p>教科書は使用しない(適宜レジュメを配布)</p> <p>参考書: 福田慎一、照山博司 著「マクロ経済学・入門」(第5版)</p>			
オフィスアワー	授業の前後を基本とする。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	授業内で適宜返却する。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	池永 尚嗣	講義計画、経済とは何か	予習:シラバスの内容に目を通しておくこと(90分) 復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分)	
2	池永 尚嗣	世界における日本経済の位置づけ(GDP他)	予習:参考書第1章を一読しておくこと(90分) 復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分)	
3	池永 尚嗣	景気循環と経済成長	予習:参考書第7～11章を一読しておくこと(90分) 復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分)	
4	池永 尚嗣	日本経済と世界経済の繋がり(貿易構造、国際収支、貿易協定)	予習:参考書第12章を一読しておくこと復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと	
			予習:参考書第12章を一読しておくこと(90分)	

5	池永 尚嗣	為替(円高と円安)	復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分)
6	池永 尚嗣	インフレとデフレ、財政政策と金融政策	予習:参考書第5~9章を一読しておくこと(90分) 復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分)
7	池永 尚嗣	日本企業と世界経済の関わり	予習:参考書第11章を一読しておくこと(90分) 復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分)
8	池永 尚嗣	問われる企業統治のあり方	予習:参考書第11章を一読しておくこと復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分) 復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分)
9	池永 尚嗣	変わる消費者	予習:参考書第11章を一読しておくこと(90分) 復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分)
10	池永 尚嗣	キャッシュレス社会とその影響	予習:参考書第5章を一読しておくこと(90分) 復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分)
11	池永 尚嗣	アメリカ経済とその動向	予習:参考書第11,12章を一読しておくこと(90分) 復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分)
12	池永 尚嗣	EU経済と日本	予習:参考書第11,12章を一読しておくこと(90分) 復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分)
13	池永 尚嗣	中国経済の特徴と経済、貿易問題	予習:参考書第11,12章を一読しておくこと(90分) 復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分)
14	池永 尚嗣	日本と世界経済の課題	予習:第2回~13回の講義内容を再読しておくこと(90分) 復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分)
15	池永 尚嗣	振り返りとまとめ	予習:これまでの講義内容を再読しておくこと(90分) 復習:授業内容を整理し、自分なりにノートにまとめておくこと(90分)



2020/02/21(金)17:02

授業科目名	経営学概論		授業形態	講義
英語科目名	Introduction to business administration		開講学期	後期
対象学年	1		単位数	2
科目責任者	平林 正樹		ナンバリング	3108
科目担当者				
平林正樹(実務経験有り)				
授業の概要				
<p>経営学とは、「景気や社会情勢にかかわらず会社がつぶれないように工夫し、職場で生き生きと楽しく働くにはどうすればよいのか、という問いへの解答を探求する学問」です。</p> <p>皆さんの多くが数年後には社会、とりわけ企業社会へと歩まれると思います。</p> <p>その際には、企業が日々活動していることのしくみや意味づけ、利害関係者(ステイクホルダー)との関係、働く人々が意欲的に働くための工夫など、最低限の経営学的なモノの見方を身につけておくことがとても重要です。</p> <p>この授業では、初学者でも理解できるように双方向のコミュニケーションを行いながらできる限りやさしく授業を進め、経営学への興味・関心が今後も持てるようにともに学んでいきます。</p>				
授業の達成目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経営学の全体像を知る。</li> <li>2. 現実の企業経営を客観的に、正確に理解する。</li> <li>3. 社会に入ってから当然知っておくべき経営学の基礎を身につける。</li> </ol>				
成績評価方法				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成績評価方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 平常点(50%)</li> <li>② 期末試験(50%)</li> </ul> <p>・授業内容に基づき、試験を行います。穴埋め問題と記述問題を出す予定で、問題の形式は授業中に指示します。</p> </li> <li>2. 成績評価基準 <p>・期末試験: 基本用語を修得し応用できるか(60%)、授業内容を理解し表現できるか(40%)</p> </li> </ol>				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎日、日本経済新聞を読みましょう。</li> <li>2. 私語は禁じます。わからないことがあれば私語をせず、途中でもどしどし質問して下さい。</li> </ol>				
テキスト・参考書				
<p>参考文献:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上林 憲雄, 奥林 康司, 團 泰雄他『経験から学ぶ経営学入門 第2版』(有斐閣)</li> <li>2. 高橋伸夫『大学4年間の経営学が10時間でざっと学べる』(KADOKAWA)</li> </ol>				
オフィシアワー				
<p>授業後の60分間。</p> <p>可能であれば、数日前までにメールにて連絡し予約をしてください。</p>				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
JPASSを活用してフィードバックします。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	平林 正樹	オリエンテーション 会社の経営とはどんなことか	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)	
2	平林 正樹	会社はどのようにして社会に役立っているのか	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)	
3	平林 正樹	会社は誰が動かしているのか	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)	
4	平林 正樹	会社はどのような方針で動いているのか	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)	
5	平林 正樹	会社はどんな仕組みで動いているのか	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)	
		会社は他の会社とどのように協力して	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分)	

6	平林 正樹	いるのか	【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)
7	平林 正樹	会社はどのようにしてモノを造るのか	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)
8	平林 正樹	社員はなぜ働くのか	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)
9	平林 正樹	社員はなぜ組織にとどまろうとするのか	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)
10	平林 正樹	社員はどのような報酬を求めるのか	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)
11	平林 正樹	社員はどのようにして育てられるのか	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)
12	平林 正樹	会社はどのようにして商品を提供する のか	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)
13	平林 正樹	会社は海外でどのように経営している のか	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)
14	平林 正樹	会社の利益はどのようにして測定する のか	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)
15	平林 正樹	まとめと総括	【予習】授業全体の復習と見直し(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)

2020/02/21(金)15:50

授業科目名	法と社会(日本国憲法)		授業形態	講義
英語科目名	The Constitution of Japan		開講学期	前期(集中)
対象学年	1		単位数	2
科目責任者	片山 和則		ナンバリング	3109
科目担当者				
片山 和則				
授業の概要				
憲法上保障されている自由・権利・平等、そしてそれらを保障するための統治機構(国会・内閣・裁判所)について学習していきます。できるだけ具体的な事例を扱い、憲法問題が身近なところにも存在するというを確認していきます。				
授業の達成目標				
本授業を通して、憲法的な考え方を身につけることを目標とします。 そしてその憲法的な考え方で身近な事例を自分自身で考えられるようになることが最終的な目標です。 具体的には、自分と異なる考え方を持つ人を尊重することについて真剣に考えられるようになることが本講義の目標です。 日本国憲法を少しずつ理解し、自身の人生や生活の一助となるような価値観と理解を求められたらと考えている。 また、安倍政権下において憲法改正議論が本格化する見込みであるため憲法改正と平和主義(自衛隊を国防軍にすべきか等)についても可能な限り詳しく説明する。				
成績評価方法				
定期試験(100%)により評価する。ただし、授業中に積極的に発言するなど授業に貢献した場合は、加点要素とする。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
事前学習は必要ではありませんが、その都度の授業で学習したことを「本当かな?」という批判的視点で検証してみる姿勢が大切です。				
テキスト・参考書				
講義毎にレジュメを配布する 伊藤正巳『憲法入門(有斐閣叢書)』有斐閣 第4最新版 戸松秀典『プレップ憲法』弘文堂 第4版 こちらを参考図書としてあげておく。				
オフィスアワー				
当該授業(集中講義)終了後に第2教育棟非常勤講師控室にて行う。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
個別に対応する。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	片山 和則	授業を始める前に オリエンテーション	日本国憲法の学習の仕方、計画を立てること。憲法を学ぶ上での基礎的知識(法学特有の表現等)をしっかりと覚えること。 【予習】:半期の学習計画を立てること 【復習】:法学特有のテクニカルタームをしっかりと覚えること(予習・復習は各90分とする)	
2	片山 和則	立憲主義と日本国憲法	立憲主義と日本国憲法について理解する。 【予習】:立憲主義について考えること 【復習】:憲法に基づく政治の在り方について考えること(予習・復習は各90分とする)	
3	片山 和則	日本国憲法の誕生と基本原理	日本国憲法の誕生と基本原理について理解すること。 【予習】:今ある日本国憲法がなぜ誕生したかについて考えること 【復習】:憲法の基本原理について理解すること(予習・復習は各90分とする)	
4	片山 和則	人権享有主体性、憲法13条	憲法13条について理解すること。特に13条は基本的人権の中心となる条文のため必ず理解すること。 【予習】:憲法13条とは何か考えること 【復習】:基本的人権における13条の役割について理解すること。(予習・復習は各90分とする)	
			法の下での平等と家庭生活について理解すること。	

5	片山 和則	法の下での平等	【予習】:家族とは何かについて考えること 【復習】:法の下での平等とは何か、平等の概念について理解すること (予習・復習は各90分とする)
6	片山 和則	思想良心の自由、信教の自由と政教分離原則	思想良心の自由、信教の自由、政教分離原則について理解すること。 【予習】:宗教と国家の在り方について考えること 【復習】:宗教をめぐる問題、非宗教性の概念について理解すること (予習・復習は各90分とする)
7	片山 和則	表現の自由と市民活動	表現の自由について理解すること。表現の自由は、基本的人権の中心となる部分であるため必ず理解すること。 【予習】:表現の自由と出版、プライバシーの問題について考えること 【復習】:表現の自由とプライバシーの問題について理解すること (予習・復習は各90分とする)
8	片山 和則	学問・教育の自由	学問・教育の自由について理解すること。 【予習】:学問の自由とは何かについて考えること 【復習】:学問の自由、大学の自治について理解すること (予習・復習は各90分とする)
9	片山 和則	職業選択の自由	職業選択の自由について理解すること。 【予習】:職業の在り方について考えること 【復習】:職業選択の自由、職業・差別・人権の問題は重なっていることを理解すること (予習・復習は各90分とする)
10	片山 和則	財産権	財産権について理解すること。 【予習】:個人の財産、私有財産制度について考える 【復習】:公共の福祉の概念について理解すること (予習・復習は各90分とする)
11	片山 和則	適正手続き、刑事被告人の権利、憲法31条	適正手続き、刑事被告人の権利について理解すること。特に31条は基本的人権の中心となる部分であるため必ず理解すること。 【予習】:人権の概念、大切さを考える 【復習】:憲法31条、刑事裁判における適正手続きの大切さを理解する (予習・復習は各90分とする)
12	片山 和則	社会権	福祉国家理念を基礎にした 20世紀的人権としての社会権が、日本国憲法においてどのように保障されているのかについて検討する。 具体的には、生存権と教育を受ける権利について理解すること。 【予習】:社会保障について考えること 【復習】:国家により自由について理解すること (予習・復習は各90分とする)
13	片山 和則	国会	1) 権力分立の原理、2) 国会の組織、3) 国会の活動、4) 国会と議院の機能 とりわけ権力分立の重要性について理解する。 【予習】:国会の機能、議院の機能について考えること 【復習】:国会の地位について理解すること (予習・復習は各90分とする)
14	片山 和則	内閣	1) 内閣と行政各部の組織、2) 内閣の権限、3) 議院内閣制 とりわけ議院内閣制について理解する。 【予習】:行政権について考える 【復習】:行政、内閣の機能について理解すること (予習・復習は各90分とする)
15	片山 和則	裁判所	1) 司法権とその限界、2) 裁判所の組織・権能、3) 司法権の独立、4) 裁判員制度 とりわけ裁判所の役割について理解する。また授業のまとめを最後に簡単に行う。 【予習】:司法権の限界、範囲、独立について考える 【復習】:定期試験に備えること (予習・復習は各90分とする)

2020/02/21(金)15:53

授業科目名	心理学概論	授業形態	講義
英語科目名	Introduction to Psychology	開講学期	前期
対象学年	1	単位数	2
科目責任者	吉武 尚美	ナンバリング	3110
科目担当者			
吉武 尚美			
授業の概要			
<p>心理学は、人間や集団の心や行動に科学的に迫り、行動を説明、予測、制御することで、人々の健康で幸福な生活に貢献する学問である。この授業は、心理学の諸領域の研究で得られた知見を学び、心理学や社会全般に対する視野を広げることを目的とする。このため、心理学という学問の基本的な考え方や研究方法に触れるとともに、個別の心理学領域の知見についても体験を通じて学んでいく。今後、グローバルヘルス、グローバル社会、異文化コミュニケーションの専門知識を学ぶ土台として、あるいは心理学に純粋に興味関心を持つ人にとってはその基礎として、「科学的な人間理解」のための知識と考えを身に付けることを目指す。</p>			
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「科学としての心理学」を学び、通俗的な心理学への誤解を解く。</li> <li>2. 人間の心や行動に関する心理学の基本的な概念や理論を理解する。</li> <li>3. 自分および他者の心や行動を心理学的知見に基づいて理解、予測、制御することができる。</li> <li>4. 様々な社会的現象を心理学的観点から考察することを通じて、心理学的な思考スキルを獲得する。</li> </ol>			
成績評価方法			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成績評価方法 リアクションペーパー (10%)、課題レポート・宿題 (30%)、小テスト (20%)、期末試験 (40%)</li> <li>2. 成績評価基準 <ul style="list-style-type: none"> <li>・心理学の諸領域の概要を理解したか</li> <li>・心理学の主要な理論を説明することができるか</li> <li>・授業で学んだことを自分の経験に関連付けて理解することができるか</li> </ul> </li> </ol>			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の授業準備として、テーマについて経験と照らし合わせ、イメージを持って臨むこと。</li> <li>・学習理解を促すため、心理テスト、行動実験、グループワークを行う。受講生の積極的な参加を求める。</li> </ul>			
テキスト・参考書			
<p>テキスト: OpenStax, Psychology. OpenStaxCNX. Jul 20, 2018. {<a href="https://openstax.org/details/psychology">https://openstax.org/details/psychology</a>}</p> <p>北米の大学等で使われている無料の心理学教科書です。pdfやKindleなどで見ることができます。</p> <p>参考書: 藤田哲也『絶対役立つ教養の心理学: 人生を有意義に過ごすために』ミネルヴァ書房 無藤 隆他『よくわかる心理学』ミネルヴァ書房</p>			
オフィスアワー			
月曜日 & 金曜日 12:00~13:00			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リアクションペーパーの記載内容は授業内でフィードバックする。</li> <li>・レポートはJuntendo-Passportのクロスプロファイル機能を使用して行う。</li> </ul>			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	吉武 尚美	オリエンテーション ・心理学とは ・心理学を学ぶ意義 ・心理学の歴史	【予習】「心とは何か」について考えてくる (90分) 【復習】心理学を学ぶ意義を整理し、授業で特に学びたい自分の関心事や目的をや明確にする。テキストの該当箇所を読んで、授業の内容を体系づけておく (90分)
2	吉武 尚美	感覚と知覚 1. 感覚・知覚とところ 2. 感覚過程 3. 知覚過程	【予習】テキストの該当箇所を読む。「錯覚」体験を2つ挙げ、状況を描写しておく (90分) 【復習】感覚・知覚に関する用語を整理し、理解を定着させる (90分)
3	吉武 尚美	意識 1. 意識とは	【予習】テキストの該当箇所を読む。(90分) 【復習】テキストを復習し意識のプロセスについて理解を深める (90分)

		2. なぜ眠るか 3. 意識を操作する	分)
4	吉武 尚美	学習のメカニズム 1. 古典的条件づけ 2. オペラント条件づけ 3. 観察学習	【予習】テキストの該当箇所を読む。それぞれの条件付けの体験を 考えてくる(90分) 【復習】様々な動機づけを整理し、学習理論についての理解を深め る (90分)
5	吉武 尚美	思考と知性 1. 認知とは？ 2. 言語 3. 問題解決と創造性	【予習】テキストの該当箇所を読む。(90分) 【復習】テキストを読み直し、理解を定着させる (90分)
6	吉武 尚美	記憶 1. 記憶の中枢 2. 情報処理理論 3. 記憶力を高めるには	【予習】テキストの該当箇所を読む。(90分) 【復習】テキストを読み直し、情報処理理論について理解を深める。 (90分)
7	吉武 尚美	生涯発達 1. 発達とは 2. 発達理論 3. 生と死	【予習】テキストの該当箇所を読む。(90分) 【復習】テキストを復習し、生涯発達の概要を理解する (90分)
8	吉武 尚美	感情と動機づけ 1. 動機づけとは 2. 飢餓と食行動 3. 感情	【予習】テキストの該当箇所を読む。(90分) 【復習】テキストを読み直し、様々な動機付けや感情の仕組みにつ いての理解を定着させる (90分)
9	吉武 尚美	パーソナリティ 1. フロイトの理論 2. 新フロイト派の理論 3. 人間性中心主義の理論 4. ビッグファイブ	【予習】テキストの該当箇所を読む。(90分) 【復習】テキストを読み直し、パーソナリティ理論のための諸理論に ついて理解を定着させる (90分)
10	吉武 尚美	社会心理学 1. 自己呈示とは 2. 態度と説得 3. 同調と服従 4. 先入観と偏見	【予習】テキストの該当箇所を読む。(90分) 【復習】テキストを読み直し、社会心理学の諸概念についての理解 を定着させる (90分)
11	吉武 尚美	ストレス 1. スレッサーとストレス反応 2. ストレスと病 3. ストレスを調整する	【予習】テキストの該当箇所を読む。(90分) 【復習】テキストを読み直し、ストレスとコーピングについての理解を 定着させる (90分)
12	吉武 尚美	精神病理 1. 精神病理と不適応 2. 情動の障害 3. 行動の障害 4. 自我の障害	【予習】テキストの該当箇所を読む。(90分) 【復習】テキストを読み直し、主要な精神病理の概要を理解する (90 分)
13	吉武 尚美	セラピーと心理療法 1. 心理療法の歴史 2. セラピーの諸学派	【予習】テキストの該当箇所を読む。(90分) 【復習】テキストを読み直し、様々なセラピーの特徴を理解する (90 分)
14	吉武 尚美	幸福 1. ポジティブ心理学とは 2. ポジティブな体験 3. ポジティブな人格 4. ポジティブな対人関係	【予習】配布資料に従って1週間の行動記録をつける (90分) 【復習】授業で触れたポジティブ心理学のワークを実践する(90分)

2020/02/26(水)13:24

授業科目名	科学史とイノベーション	授業形態	講義
英語科目名	History of science technology and innovation	開講学期	後期
対象学年	1	単位数	1
科目責任者	鈴木 一義	ナンバリング	3111
科目担当者			
鈴木 一義			
授業の概要			
受講生が、現代社会の様々な現状や課題を考えるにあたって、近視眼的にならない考え方や見方が行えるような歴史認識のとらえ方を講義する。また、その実践として、新たな社会や技術におけるイノベーションがどう行われ、どのような変化をもたらしたかなどについて、具体的な過去から現代までの技術や製品などを取り上げるなどして、理解を深める。			
授業の達成目標			
1. 現代社会の現状や課題を正しく理解するために、種々の視点からアプローチができる。 2. 技術と社会の関係を理解し、近視眼的でない考え方ができる。			
成績評価方法			
講義中の議論や課題(40%)と期末試験(60%)との合計点により最終評価を行う。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
特になし(但し、受講者は20名を原則とする。希望多数の場合、抽選を行うことがある。)			
テキスト・参考書			
適時紹介する。			
オフィスアワー			
授業の前後とする。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
授業内で適宜返却する。			

## 授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】

授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	鈴木 一義	初回ガイダンス 1) 授業の進め方を説明する。 2) 「科学、技術、そして科学技術とは何か」について、グループに分かれて討論し、発表し合う。	【予習】シラバスを熟読のうえ授業に臨むこと(90分) 【復習】科学技術について考えをまとめておく。(90分)
2	鈴木一義	科学技術(1)～日本の医術と医学 1) 日本の医術と医学の歴史を概観し、現代における日本の医療の現状を考える。	【予習】日本医療の現状について、考えておく。(90分) 【復習】医療と社会について考えをまとめておく。(90分)
3	鈴木一義	科学技術(2)～日本の技術1 1) 江戸時代の様々な技術について、現代との関係から概観する。	【予習】江戸時代の技術について、興味のある事物について調べておく。(90分) 【復習】学んだことについて、考えをまとめておく。(90分)
4	鈴木一義	科学技術(3)～日本の技術2 1) 江戸時代の様々な技術について、現代との関係から概観する。	【予習】江戸時代の技術について、興味のある事物について調べておく。(90分) 【復習】学んだことについて、考えをまとめておく。(90分)
5	鈴木一義	科学技術(4)～日本の近代化 1) 幕末から近代にかけての日本の西歐化の特徴について概観し、現代との関係について考える。	【予習】幕末、明治期の科学や技術導入について、興味のある事物について調べておく。(90分) 【復習】学んだことについて、考えをまとめておく。(90分)
		科学技術(5)～日本の最先端技術 1) 現代の最先端科学技術について、事	【予習】最先端科学技術について、興味のある事物について調べて

6	鈴木一義	例をあげて日本のモノづくりの特徴を考 える。	おく。(90分) 【復習】学んだことについて、考えをまとめておく。(90分)
7	鈴木一義	博物館(都内)における課外授業 1)博物館の展示をみて、関心を持った ことについてレポートにまとめる。	【予習】特になし。(90分) 【復習】関心を持った事物について調べ、レポートにまとめる。(90分)
8	鈴木一義	科学技術について 1)これまでの授業やレポート(前週のレ ポートを提出する)等を元に、科学技術 についてグループに分かれて討論し、 発表を行う。	【予習】科学技術について、これまでの授業やレポート(提出)など から、考えをまとめておく。(90分) 【復習】科学技術について考えをまとめておく。(90分)



2020/02/21(金)13:42

授業科目名	化学とその応用		授業形態	講義
英語科目名	Basic chemistry and it's applications		開講学期	後期
対象学年	1		単位数	1
科目責任者	石原 量		ナンバリング	3112
科目担当者				
石原 量				
授業の概要				
我々の身の回りを見渡すと様々な物質、様々な現象があふれている。現象には社会という言葉で表現される歴史、思想、道徳といった事柄も含まれる。これらを科学の視点で切り取り理解することによって、より正確に、そして時には応用できる形で捉えることができる。本講義では、国際と教養という二つのキーワードを意識しつつ、我々の住む世界に存在する様々な物質・現象を、科学の中でも特に化学の視点で理解し、応用するための基礎的な知識を楽しみながら学ぶ。				
授業の達成目標				
1. この宇宙に存在する基本的な原理や法則を理解している。 2. 様々な物質・現象を化学的に捉えるとはどういうことか理解している。 3. 上記の化学的知識や視点を、様々な問題解決などに応用する事ができる。				
成績評価方法				
期末レポート(35%)、毎回の小テスト(65%)との合計点により最終評価を行う。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
大学とは、学問を学ぶ意欲のある人が、わざわざお金を払い、貴重な時間を使って集ってきている場所です。この初心を忘れずに、本講義には科学を楽しみ、世界をみるための新しい化学的視点を手に入れるという高い意識をもって臨んで下さい。講義中あるいは講義後には講義内容に密接に関連した基本的な問題を出すので、それらについても積極的に取り組み理解度を確認して下さい。また、期末レポートとして課題を用意するので、決められた締切日までに提出して下さい。皆さんそれぞれの人生のなかで科学に関する疑問が生じた場合、インターネット、書籍、論文などを利用して自ら調べ、理解する努力をして下さい。もちろん、授業内、オフィスアワー、e-mail等を通して質問して頂いて結構です。いずれにせよ、こういった経験を通して“自ら問題を解決する手法”を学んで下さい。授業計画は学生の理解度や興味によって変更する場合があります。				
テキスト・参考書				
科目担当者が作成・配布するプリントおよび適宜紹介する書籍。				
オフィスアワー				
金曜日 13:30～14:30				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
小テストに対して、授業冒頭でコメント・解説をする。 期末レポートに対してコメントをする。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	石原 量	「自然を科学する」 この世界を理解する化学の視点および定性・定量という概念を学ぶ (1) 自然科学 (2) 化学の視点 (3) 定性・定量	【予習】「自然科学」について調べる(90分) 【復習】生活の中で様々なものを計算してみて定量的に理解してみる(90分)	
2	石原 量	「化学構造をみて思う(I)」 電子雲について学び、化学構造から物質の特徴を類推できるようになることをめざす (1) 見える & 色 (2) 電子の雲 (3) 物質の特徴	【予習】「色」「元素」について復習する(90分) 【復習】色素や導電性ポリマーについて調べる(90分)	
		「化学構造をみて思う(II)」 周期表を復習し、化学構造から物質の特徴を類推できるようになることをめざす	【予習】「周期表」について復習する(90分) 【復習】身の回りにある液体をpH・pKaと水・油の視点でみる(90分)	

3	石原 量	す (1) 元素周期表 (2) 酸性・塩基性 (3) 水と油	分)
4	石原 量	「化学反応は起こる？」 化学反応がなぜ起こるのかを化学的に説明できるようになることをめざす (1) ギブズエネルギー (2) 平衡論・速度論 (3) 有機化学	【予習】「物理化学」「有機化学」について調べる(90分) 【復習】「有機化学反応」について調べる(90分)
5	石原 量	「体の中の化学(I)」 糖質・脂質について学び、我々はなぜ食べるのか、ダイエットとはなにかを化学的に説明できるようになることをめざす (1) 三大栄養素 (2) 糖質・脂質 (3) メタボリズム	【予習】「食事」について自分なりに考えをまとめておく(90分) 【復習】糖質代謝、脂質代謝について調べる(90分)
6	石原 量	「体の中の化学(II)」 タンパク質とは何かを化学的に学び、バイオテクノロジーについても説明できるようになることをめざす (1) タンパク質 (2) セントラルドグマ (3) バイオテクノロジー	【予習】「高分子」「タンパク質」「遺伝子組み換え」について調べる(90分) 【復習】「生化学」について調べる(90分)
7	石原 量	「薬って化学？」 薬とは何かを化学的に説明できるようになることをめざす (1) 薬について (2) 作用機序 (3) 違法薬物	【予習】「薬」について調べる(90分) 【復習】自分の飲んでいる薬の作用機序を調べる(90分)
8	石原 量	「社会の中に化学？」 現象の一部を化学的に理解・説明できるようになることをめざす (1) 現在までの化学 (2) 未来の化学 (3) まとめとメッセージ	【予習】「化学の歴史」について調べる(90分) 【復習】現在の様々な社会問題について化学の視点で考えてみる(90分)

2020/04/16(木)11:55

授業科目名	生きている仕組みI		授業形態	講義
英語科目名	Structure of the Living Human Body I		開講学期	後期
対象学年	1		単位数	2
科目責任者	ニヨンサバ フランソワ		ナンバリング	3113
科目担当者				
ニヨンサバ フランソワ、山倉 文幸、内田 桂吉、長沼 淳、染谷 明正、五十嵐 庸				
授業の概要				
今世紀に入り、ヒトの全遺伝子配列が判明した事に象徴されるように、生命科学の発展は目覚ましいものがある。理科系の分野で働くことがなくても、医療、健康、スポーツなど日常生活に深い関わりのある多くの分野で、生命現象の科学的理解をうまく使いこなす能力が必要とされるようになってきた。また、ヒトの健康および疾病を理解するためには、生物の活動を基本的に支えている仕組の理解を欠かすことが出来ない。本講義(生きている仕組みI=生命現象の科学)では、理系・文系の学生、医療系バックグラウンドをもたない学生がグローバルヘルスサービス領域等の展開科目の授業の理解を深めるために、化学、生化学、生物学と免疫学の基礎知識を学ぶ。また、人間の生命と社会、文化等との関連についての問題意識を深める。				
授業の達成目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生は、生物と無生物を分ける条件と生物を形成している分子について説明出来る。</li> <li>2. 学生は、細胞の構造とそのふるまいについて説明出来る。</li> <li>3. 学生は、遺伝子の働きについて説明出来る。</li> <li>4. 学生は、生体活動とエネルギー／代謝について説明出来る。</li> <li>5. 学生は、自然免疫の仕組み、獲得免疫の仕組み及び感染免疫について説明できる。</li> <li>6. 学生は、生体応答としての炎症反応を理解できる。</li> <li>7. 学生は、共通の目標を達成するためにグループとして協働する能力を進展させることが出来る。</li> <li>8. 学生は、人の命の複雑さや尊さを知り、行動できるようになる。</li> </ol>				
成績評価方法				
参考書：『文系のための生命科学』第2版、羊土社。 『ZEROからの生命化学』改訂4版、南山堂。 その他適宜紹介する。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
科学的な知識のみならず考え方を学んで欲しい。講義中あるいは講義後に教員はそれぞれの講義内容に密接に関連した課題を出します。それらにつき、討論、調査、考察の結果を提出します。期日を守って提出して欲しい。授業内容項目について不明な項目は教科書、参考文書及びインターネット等で調べておくことが好ましい。復習としては習った内容を復習し、宿題に出された練習問題をすることが重要である。疑問点が生じた場合、授業内にのみならずオフィスアワー やe-mail等を駆使し積極的に解決を図って欲しい。				
テキスト・参考書				
参考書：文系のための生命科学 第2版、羊土社 その他各教員が授業に於いて適宜紹介する。				
オフィスアワー				
別途、授業内で案内する(事前メール受付で随時対応)。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
Juntendo-Passportのクラスプロフィール機能を使用して行う。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	ニヨンサバ フランソワ	全体の流れ。 生命科学とはどのようなものか?	<b>【予習】</b> 生物である条件について考えておく(90分)。 <b>【復習】</b> 生物と無生物の境界にある種について調べて下さい(90分)。	
2	山倉 文幸	生体分子を学ぶ基礎:(1)生体を作る原子、(2)原子が結合して分子となる、(3)水の性質と水に溶ける、溶けないを分けるもの、(4)水溶液の濃度の表し方、(5)酸性度の表し方。 [キーワード]元素記号、周期律、イオン結合、共有結合、分極、水素結合、電	<b>【予習】</b> 授業タイトルに相当する高校の化学の教科書をよく読んでおくこと(90分)。 <b>【復習】</b> 授業で出題した例題を解き、良く理解すること(90分)。	

		解質と電離、質量パーセント濃度、モル濃度、pH。	
3	山倉 文幸	有機化合物と生体分子:(1)有機化合物に含まれる官能基、(2)糖とはなにか、(3)脂質とはなにか、(4)タンパク質とはなにか、(5)核酸とはなにか。 [キーワード]グルコース(ブドウ糖)、脂肪酸、中性脂肪、リン脂質、アミノ酸、ペプチド、DNA、RNA。	【予習】 授業タイトルに相当する高校の化学の教科書をよく読んでおくこと(90分)。 【復習】 授業で出題した例題を解き、良く理解すること(90分)。
4	内田 桂吉	地球上の生物は細胞からできている:「細胞」はどのように発見されたのか、その歴史を振り返る。	【予習】 細胞の発見、細胞説の確立について、高校の教科書等を参考に学習しておく(90分)。 【復習】 パワポ資料を振り返り、細胞説の確立の歴史を確認しておく(90分)。
5	内田 桂吉	ヒトの細胞の中はどんな構造か:小さな細胞の中にあるさらに小さく、また複雑な構造とその役割について学ぶ。	【予習】 細胞の構造について、高校の教科書等を参考に学習しておく(90分)。 【復習】 パワポ資料を振り返り、細胞の中の様々な構造の名称・役割を確認しておく(90分)。
6	内田 桂吉	遺伝子と遺伝子発現:遺伝子DNAから生命に必要なタンパク質ができるまでの仕組みを理解する。	【予習】 遺伝子DNAの構造および役割について高校の教科書等を参考に学習しておく(90分)。 【復習】 パワポ資料を振り返り、タンパク質合成の全過程を確認しておく(90分)。
7	長沼 淳	生命科学の発展と生命倫理:生命科学の進歩に合わせて倫理が果たすべき役割を理解する。	【予習】 生命科学の発展がどのような問題を生じさせているか新聞等で調べておく(90分)。 【復習】 人類に科学が利益だけでなく不利益をもたらす可能性も考慮し、科学発展の方向性を自分なりに考える(90分)。
8	五十嵐 庸	生体活動とエネルギー・代謝:ヒトが生体活動を行うには、エネルギーを必要とする。それには、食物を消化・吸収し、「代謝」という過程を経て、最終的にエネルギーに変換している。その「代謝」について学ぶ。	【予習】 代謝について調べておく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。
9	ニヨンサバ フランソワ	免疫I:自然免疫:好中球、マクロファージ、NK細胞、補体が自然免疫で果たす役割を説明できる。 自然免疫の特徴を説明できる。	【予習】 「自然免疫」とは何か、その仕組みについて調べ、教科書及びプリントの該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業で示されたプリントの内容を整理しておくこと(90分)。
10	ニヨンサバ フランソワ	免疫II:獲得免疫:T細胞及びB細胞が獲得免疫で果たす役割を説明できる。 細胞性免疫、体液性免疫、抗体産生機構を理解する。	【予習】 「獲得免疫」とは何か、その仕組みについて調べ、教科書及びプリントの該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業で示されたプリントの内容を整理しておくこと(90分)。
11	ニヨンサバ フランソワ	免疫III:感染防御免疫:生体内侵入した細菌やウイルスなどの病原体に対する生体防御システムの仕組みを細胞レベルと分子レベルで説明する。	【予習】 「感染防御免疫」の仕組みについて調べ、教科書及びプリントの該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業で示されたプリントの内容を整理しておくこと(90分)。

12	染谷 明正	炎症反応の分子生物学: 炎症とは生体が様々な侵襲を受けたときに、その原因を取り除き、生体の恒常性を維持しようとする防御反応の一つである。本講義では、炎症が起きる過程と、生体にどのような影響を及ぼすかを中心に解説する。	【予習】 炎症が起こる原因とその4大兆候について学習しておくこと(90分)。 【復習】 資料を振り返り、炎症に関わる重要事項を確認しておくこと(90分)。
13	ニヨンサバ 五十嵐 染谷	グループ分け、グループ討論への導入、プレゼンテーションの粗稿を作成する: 一般向けの短い記事・論文を配布(各チームに1編ずつ)。 各チームは、それぞれ論文を読んで、プレゼンテーションの粗稿を作成する。最終稿を完成させるためにはどのような改善が必要かを決定し、そのために各チームのメンバーがどのような役割を分担すればよいかを決める。	【予習】 よく理解できない概念について教科書やインターネットで調べておく(90分)。 【復習】 各自に与えられた課題(役割分担)についてよく調べておく(90分)。
14	ニヨンサバ 五十嵐 染谷	プレゼンテーションの最終原稿を作成する: 最終稿(スライド)をまとめて、リハーサルをおこない、各チームのプレゼンテーションを提出する。 最終プレゼンテーションのために必要な画像や原稿を準備する。	【予習】 最終プレゼンテーションのために必要な画像や原稿を準備する(90分)。 【復習】 論文を読み直して、各チームが作成した用語(難しい概念)リストを復習しておく(90分)。
15	ニヨンサバ 五十嵐 染谷	チームのプレゼンテーション: 各チームのプレゼンテーションをスクリーン上に映写する。すべての学生が各プレゼンテーションを見て・聞いて、点数をつける。ただし、自分のチームのプレゼンテーションは採点しない。	学生は、他のチームのプレゼンテーションを相互評価する。

2020/04/16(木)11:54

授業科目名	生きている仕組みII		授業形態	講義
英語科目名	Structure of the Living Human Body II		開講学期	前期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	ニヨンサバ フランソワ		ナンバリング	3114
科目担当者				
ニヨンサバ フランソワ、坂井 建雄、小西 清貴、渡邊 マキノ				
授業の概要				
本講義では、文系学生等、医療系バックグラウンドをもたない学生がグローバルヘルスサービス領域等の展開科目の授業の理解を深めるために、人体の生物学的基礎知識を学ぶ。人体の構造と機能の概要の全体像、異常な状態を学ぶことにより、人体という生命体の実態を俯瞰する。また、人間の生命と社会、文化等との関連についての問題意識を深める。				
授業の達成目標				
人体がどのような構造を持ち機能しているかについて理解し、健康と疾病によって人体が受ける構造と機能の変化を学習するための基礎とする： 1. 「幅広く深い教養」：人間の体の各パーツの構造と名前を知ることと、それらがいかに調和を保っているかを知る。 2. 「総合的な判断力」：人体の仕組みの知識は体の動き、怪我、病気を理解する基礎となる。 3. 「豊かな人間性」：人体の仕組みを知る過程で、人の命の複雑さや尊さを知り、行動できるようになる。				
成績評価方法				
期末筆記試験を重視(60%程度)する。さらに随時提出を求めるレポートと小試験(40%程度)の結果を加える。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
世界標準テキスト「ヒューマンバイオロジー」を読んでおくこと。授業内容項目について不明な項目は教科書、参考文書及びインターネット等で調べておくことが好ましい。復習としては習った内容を復習し、宿題に出された練習問題をすることが重要である。				
テキスト・参考書				
テキスト:ヒューマンバイオロジー(人体と生命)坂井建雄・岡田隆夫監訳、医学書院(原著:Human biology, 7th Edition, Sylvia S. Made r) 参考書:カラー図解人体の正常構造と機能 縮刷版 坂井建雄・河原克雅(日本医事新報社) 看護学入門 1巻 人体のしくみと働き 第3版 (メヂカルフレンド社)				
オフィスアワー				
別途、授業内で案内する。(事前メール(francois@juntendo.ac.jp)受付で随時対応)				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
Juntendo-Passportのクラスプロフィール機能を使用して行う。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	坂井 建雄	【人とはなんだろうか。人体をつくるもの:生命の化学、細胞の構造と機能】 私たちは何ものかを理解する。また、元素と原子、生命をつくる分子、タンパク質などを理解し、人体を構成する最小単位である細胞の構造、機能と代謝を学ぶ。	【予習】 分子、タンパク質、細胞の構造と機能について調べ、教科書の該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。	
2	坂井 建雄	【人体をつくるもの:人体の構造と調節】 細胞が集って組織、器官、器官系を形成してできる人体の基本構造、基礎的機能を知る。ホメオスタシス:生体は細胞間で情報交換し、生命活動を行うのに最適な内部環境を整え、恒常性(ホメオスタシス)を維持している。このことを体液の組成と量および体温の調節から学ぶ。	【予習】 組織や器官の構造と機能について調べておく。また、「ホメオスタシス」とは何か調べ、教科書の該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。	

3	渡邊 マキノ	<p>【人体を維持する仕組み:消化器系と栄養素】 消化器系の器官と消化と吸収の生理:食物を摂取し、消化し、栄養素を吸収するための消化管と、その消化吸収に関わる付属器官としての肝臓、胆嚢、膵臓についての構造と機能を学ぶ。また、咀嚼、嚥下、排便の意味を理解し、さらに、栄養素の働きと代謝についても学ぶ。</p>	<p>【予習】 消化器系の器官にはどのようなものがあるか調べ、教科書の該当箇所を読んでおく。また、栄養素の働きについて調べておく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。</p>
4	渡邊 マキノ	<p>【人体を維持する仕組み:心臓血管系】 血管の種類、構造、機能や血圧の調節について学ぶ。心臓の構造と機能:循環器系の中心である心臓について、その構造、発生と心奇形、心筋収縮のメカニズムとその調節機構、そして、心臓を栄養する冠循環系について学ぶ。</p>	<p>【予習】 血管や心臓の構造と機能について調べ、教科書の該当箇所を読んでおく。また、心奇形にはどのようなものがあるか調べておく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。</p>
5	ニヨンサバ フランソワ	<p>【人体を維持する仕組み:血液の組成と機能】 体中を流れ、物質や熱の運搬、内部環境の維持、感染防御、止血などの機能を持つ血液について、その成分と機能を学び、また、血液型の概略と輸血について説明する。</p>	<p>【予習】 「血液」の役割は何かを調べ、教科書の該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。</p>
6	ニヨンサバ フランソワ	<p>【人体を維持する仕組み:リンパ系および免疫系】 組織液の循環を司るリンパ系の構造と機能についても学ぶ。また非特異的と特異的防御機構を理解する。免疫により外部からの病原微生物などから体を守る一方、アレルギー反応や自己免疫疾患など生体に不都合な状況を作り出してしまふこともある。この免疫の仕組みについて解説する。</p>	<p>【予習】 リンパ系の構造と機能について調べておく。また、「免疫」とは何か、その仕組みについて調べ、教科書の該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。</p>
7	渡邊 マキノ	<p>【人体を維持する仕組み:呼吸器系】 呼吸器系の器官と呼吸の生理:細胞での物質代謝やエネルギー代謝に不可欠な酸素を取り入れ、生じた二酸化炭素を排出する呼吸器系について、その構成と機能、呼吸運動の調節について学ぶ。また、声帯での発声機構についても学ぶ。</p>	<p>【予習】 呼吸器系の役割について調べ、教科書の該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。</p>
8	渡邊 マキノ	<p>【人体を維持する仕組み:泌尿器系と排泄】 腎臓で生成された尿は、尿管を経て膀胱に溜め、尿道から排尿する。この泌尿器の構造、尿生成のメカニズム、蓄尿と排尿の調節機構について学ぶ。</p>	<p>【予習】 泌尿器系の器官にはどのようなものがあるか調べ、教科書の該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。</p>
9	渡邊 マキノ	<p>【人体を動かす仕組み:骨格系と筋系】 体幹の骨と筋の構造と生理:骨格と骨格筋、軟骨、関節の形態と構造、筋収縮の分子機構、そして姿勢や運動の制</p>	<p>【予習】 体幹の骨と筋の名称について調べ、教科書の該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】</p>

		御の仕組みについて解説する。	授業内容を整理しておくこと(90分)。
10	小西 清貴	【人体に広がる情報網:神経系】 中枢神経と末梢神経の構造と機能:私たちの体の内外からの情報を集め、それを処理し、身体の機能をコントロールする神経系について、その構造と機能、情報伝達の仕組みについて学ぶ。	【予習】 中枢神経と末梢神経とは何か、その働きの違いについて調べ、教科書の該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。
11	小西 清貴	【人体に広がる情報網:感覚器系】 感覚器の種類と生理:体の外の光、音、温度、圧力、重力や化学物質、あるいは体の中の運動感覚や臓器感覚(尿意、満腹感、内臓痛など)を認識している感覚器系について、構造とそれぞれの感覚の認識の仕組みについて学ぶ。	【予習】 感覚器にはどのようなものがあるか、また、その構造を調べ、教科書の該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。
12	渡邊 マキノ	【人体に広がる情報網:内分泌系】 内分泌臓器はそれぞれの特有のホルモンを合成し分泌して、内部環境の調節を神経系とともに担っている。これらのホルモンには、どのような種類があり、どのような仕組みで作用し、生命活動を調節しているかについて学ぶ。	【予習】 内分泌臓器のホルモンには、どのような種類があるか調べ、教科書の該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。
13	渡邊 マキノ	【人体の発生と加齢:生殖器系、性感染症】 生殖器系の器官と生殖の生理:新しい個体を生み出す生殖について、その機能を担う生殖器の構造と働きについて説明する。さらに、性感染症:ウイルス感染症、細菌感染症とその他の感染症について学ぶ。	【予習】 生殖器系の器官について調べておく。また、性感染症について調べ、教科書の該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。
14	渡邊 マキノ	【人体の発生と加齢:発生・発達と加齢】 受精、誕生前の発達、誕生、誕生後の変化に至る経過について説明する。さらに、誕生した個体の成長と加齢による変化、そして寿命と死について学ぶ。	【予習】 受精から誕生後に至る経過について調べ、教科書の該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。
15	渡邊 マキノ	【ヒトの遺伝学:染色体と遺伝、DNAと生物工学】 体細胞分裂、染色体と遺伝、遺伝子型と表現型、DNAとRNAの構造と機能、遺伝子表現、遺伝子工学について学ぶ。	【予習】 「染色体、遺伝子、DNA」とは何か調べ、教科書の該当箇所を読んでおく(90分)。 【復習】 授業内容を整理しておくこと(90分)。



2020/02/21(金)14:16

授業科目名	論理学		授業形態	講義
英語科目名	Logic		開講学期	前期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	渡辺 大地		ナンバリング	3115
科目担当者				
渡辺 大地				
授業の概要				
<p>論理とは思考のつながりのことであり、「論理的」とは思考のつながりが明確であって、論証が正しく行われている状態をいう。しかしわれわれが日常生活を送っているときしばしば論理的ではない状況に出くわす。相手の意図を理解できず推理を誤ったり、自分の考えが相手に伝わらなかったりすることは珍しいことではない。その背景には論理が正しく理解されていないことがあるといえる。論理学とは、論理的に正しいとはどういうことなのか、論理的に考えを述べたつもりでもそうではない状況はなぜ生み出されるのかについて研究する学問分野である。本講義では、論理学の中でも19世紀後半から飛躍的に発展した記号論理学の基礎的な方法について学習し、正しい論証と誤った論証とを区別できるようにすることで、グローバル化など、激しく変化する社会の実践の場面で論理的思考により生活できるその基盤を提供することを目的とする。</p>				
授業の達成目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 推論の技術・方法を身につけ、自分の力で推論の正しさを確認できる。</li> <li>2 論理的に言葉を使用することができ、その結果、論理から逸脱した言葉の使用もまた指摘できる。</li> <li>3 いわゆる「論理パズル」的な問題を解くことができる。</li> <li>4 言語コミュニケーションにおいて論理的であることの重要性を理解することができる。</li> </ol>				
成績評価方法				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 成績評価方法 全5回分の小テスト(50%)、期末試験(50%)</li> <li>2 成績評価基準 授業で説明した方法で問題を解くことができているか。</li> </ol>				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<p>論理学は途中で分からなくなるとそのあとがすべてわからなくなってしまうので、わからなくなったらすぐ質問して、疑問点を解決すること。また、前回の講義の復習をしてから新しい内容に入るので、一回休んでも授業について来られると思うが、2回連続して休んでしまうとついて来られなくなってしまう可能性があるため、なるべく連続して休まないこと。 特に前提となる知識はないが、問題を解きながら授業が進んでいくので、問題を解くことを面倒くさがらないようにしてほしい。</p>				
テキスト・参考書				
<p>(テキスト) 毎回プリントを配り、それによって講義を進めていくので、各自で事前に用意しておくテキストはない。</p> <p>(参考書) 戸田山和久著『論理学をつくる』(名古屋大学出版局) 中内伸光著『論理の練習帳』(共立出版株式会社) 平尾始著『図解 論理学のことが面白いほどわかる本』(中経出版)</p>				
オフィシアワー				
授業曜日の後1時間程度				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
小テストの結果は授業内で適宜返却する。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	渡辺 大地	<p>初回ガイダンス</p> <p>・授業の進め方、評価方法などについて説明する。</p> <p>・論理学とはどのような学問であるかを説明する。</p>	<p>【予習】 論理学とはどのような学問であるかを、シラバスに挙げられている参考文献などで各自調べておく。(90分)</p> <p>【復習】 講義で配布するプリントを読んで、論理学とはどのようなものかを確認しておく。(90分)</p>	
2	渡辺 大地	<p>推論の形式化</p> <p>・日本語表現から論理学の言語(論理式)への翻訳練習</p>	<p>【予習】 プリントの該当箇所を読んでおく。(90分)</p> <p>【復習】</p>	

			日本語の文を論理式に翻訳する際の注意点を確認する。(90分)
3	渡辺 大地	論理的な表現の理解 ・「または」「かつ」「～でない」「ならば」を真理表によって定義する	【予習】 日本語から論理の言語への翻訳を確認する(90分) 【復習】 論理的な表現の定義を覚える。(90分)
4	渡辺 大地	論理式の分類 ・恒真式(かならず真になる命題)と矛盾式(かならず偽になる命題)の説明	【予習】 真理表が書けるかどうかを確認する(90分) 【復習】 真理表による論理式の分類ができているかを確認する。(90分)
5	渡辺 大地	同値変形 ・規則に従って論理式を変形することで、同じ意味になる表現を確認する	【予習】 論理的な語の意味が覚えられているかどうかを再度確認する。(90分) 【復習】 論理式を変形する練習をする。(90分)
6	渡辺 大地	推論が正しいかどうかの判別 ・いままで学習してきたことを踏まえ、推論が正しいかどうかを判別する方法を紹介する。	【予習】 真理表がきちんと書けているかどうかを確認する。(90分) 【復習】 自分が考える推論が正しいかどうかを確認する。(90分)
7	渡辺 大地	消去による推論法 ・新たな方法で推論が正しいかどうかを判別する。	【予習】 論理式への翻訳を再確認しておく。(90分) 【復習】 新たな方法を理解できているかどうかを確認する。(90分)
8	渡辺 大地	名辞論理 ・「一般名」を基本単位とする新たな論理学の紹介	【予習】 今まで学習してきた命題論理の要点をまとめる。(90分) 【復習】 命題論理と名辞論理との違いを理解する。(90分)
9	渡辺 大地	ヴェン図(その1) ・命題の意味を図で表したものを使って、命題の意味を明確にする	【予習】 名辞論理の特徴を押さえる(90分) 【復習】 各命題に対応するヴェン図を覚える。(90分)
10	渡辺 大地	ヴェン図(その2) ・ヴェン図を用いて推論が正しいかどうかを判別する。	【予習】 ヴェン図が書けるかどうか確認する。(90分) 【復習】 自分が考えた推論を、ヴェン図によって正しいかどうか確かめる。(90分)
11	渡辺 大地	述語論理 ・述語を基本単位とする新たな論理学の紹介 ・述語論理の基本概念となる、全称「すべて」と特称「ある」の違いを説明する	【予習】 今まで学習してきた名辞論理の要点をまとめる。(90分) 【復習】 「すべて」と「ある」の違いを押さえる。(90分)
12	渡辺 大地	述語論理の言語の説明 ・述語論理の言語の特徴を説明し、「すべて」と「ある」の働きの違いを確認する	【予習】 名辞論理と述語論理の違いを確認する。(90分) 【復習】 述語論理の特徴を押さえる。(90分)
13	渡辺 大地	翻訳練習 ・日本語の表現から述語論理の言語への翻訳練習	【予習】 述語論理において成り立つ法則を覚える(90分) 【復習】 日本語の文を述語論理の言語に翻訳する際の注意点を確認する。(90分)
14	渡辺 大地	オイラー図 ・述語同士の包含関係を図によって表現したのによって、推論が妥当かどうかを判別する	【予習】 自分が考えた文の翻訳を試みる。(90分) 【復習】 各命題に対応するオイラー図が書けるかどうか確認する。(90分)
15	渡辺 大地	意味論的タブロー ・定められたルールに従って樹形図を書くことで、推論が正しいかどうかを判別できる方法の紹介	【予習】 自分で考えた推論が正しいかどうかをオイラー図で確認する(90分) 【復習】 意味論的タブローによって推論が正しいかどうかを判別できるよう

			になっているか、確認する。(90分)

2020/08/07(金)15:19

授業科目名	カウンセリング論	授業形態	講義
英語科目名	Introduction to Counseling Psychology	開講学期	前期
対象学年	2	単位数	1
科目責任者	道谷 里英	ナンバリング	3116
科目担当者			
道谷 里英(実務経験有り)			
授業の概要			
人々が直面する問題がより複雑、高度化している現代社会において、専門的な対人援助の重要性がますます高まっている。本講義においては、対人援助活動の一つであるカウンセリングに焦点を当て、カウンセリングの定義、カウンセリングを行う者に求められる基本的な態度や技能、カウンセリングのプロセスを学ぶ。カウンセリングを学ぶことを通じて、援助する側と援助される側との関係性を踏まえて、より良い対人援助のあり方を学ぶ。			
授業の達成目標			
1. 心理的な援助であるカウンセリングの理念や基本的なあり方を理解する。 2. 援助を求める人に共感し、その人を受容するための支持的な聴き方の基礎を身につける。 3. 援助者として必要な態度や資質について理解する。 4. 援助者としての自分自身の心の声に耳を傾け、セルフケアの方法を理解する。			
成績評価方法			
定期試験7割、出席時に提出するリアクションペーパーおよび事前課題の提出3割で評価します。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
本科目ではカウンセリングの知識だけでなく、スキルを学ぶことが含まれるため、各学生には能動的に授業に参加する姿勢を強く求めます。また、集合形式での授業実施のため、講師が一人ひとりへフィードバックを行うことは困難ですが、その代り、受講生同士が積極的にフィードバックし合う時間を設けます。相手を尊重し、相手の成長につながるようコメントをするようにお願いします。			
テキスト・参考書			
テキストは特に指定しない。参考書は授業内で紹介する。			
オフィスアワー			
r-michitani@juntendo.ac.jp メールで個別にアポイントを取ってください。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
授業内やJuntendo Passportを使用してフィードバックします。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	道谷 里英	【オリエンテーション】カウンセリングが誕生した社会的背景や人々のwell-beingとの関連、類似する援助行動との違いを理解する。	【予習】(90分)あなたが誰かの相談にのった経験を通じて、話を聞くことについて難しさを感じたことはありますか。もしあれば、どのような点が難しかったでしょうか。また、経験がない場合は、想像で構いませんのでどのような点が難しそうかを1000字程度でまとめて持参すること(要提出)。 【復習】授業で提示された復習用課題を行い、知識を定着させること。
2	道谷 里英	【共感と受容】対人援助の基本姿勢として強調される「共感」や「受容」という言葉への理解を深める。	【予習】(90分)共感や受容についてあなたが知っていることと、事前配布された資料とを比較し、一致していた点と異なっていた点とをまとめてくること。 【復習】(90分)授業で提示された復習用課題を行い、知識を定着させること。
3	道谷 里英	【支持的な聴き方:ステップ①批判せず傾聴する】主に反射のスキルを用いながら、相手が語ることを批判せず受け取り、ついていく聴き方を学ぶ。	【予習】(90分)事前配布された資料と、自身の経験と比較し、疑問点を明らかにしておくこと。 【復習】(90分)授業で提示された復習用課題を行い、知識を定着させること。
		【支持的な聴き方:ステップ②客観的に聴く】主に質問や要約のスキルを用いながら、相手が語ることを批判せず受け取り、ついていく聴き方を学ぶ。	【予習】(90分)事前配布された資料と、自身の経験と比較し、疑問点を明らかにしておくこと。

4	道谷 里英	がら、相手を客観的に理解するための聴き方を学ぶ。	【復習】(90分)授業で提示された復習用課題を行い、知識を定着させること。
5	道谷 里英	【支持的な聴き方:ステップ③共感に至るように聴く】ステップ①②をバランスさせながら相手を深く理解するための聴き方を学ぶ。	【予習】(90分)事前配布された資料と、自身の経験と比較し、疑問点を明らかにしておくこと。 【復習】(90分)授業で提示された復習用課題を行い、知識を定着させること。
6	道谷 里英	【支持的な聴き方:総合的実習】ステップ①から③をふまえて、支持的な聴き方を実践する。	【予習】(90分)事前配布された資料と、自身の経験と比較し、疑問点を明らかにしておくこと。 【復習】(90分)授業で提示された復習用課題を行い、知識を定着させること。
7	道谷 里英	【セルフケアとしてのカウンセリング】援助者としての自らの心の声に耳を傾け、セルフケアを実践するための方法を学ぶ。	【予習】(90分)事前配布された資料と、自身の経験と比較し、疑問点を明らかにしておくこと。 【復習】(90分)授業で提示された復習用課題を行い、知識を定着させること。
8	道谷 里英	定期試験とまとめ	【予習】(90分)復習用課題をすべて振り返る。また、支持的な聴き方を実践していくうえでの自分の課題をまとめておくこと。 【復習】(90分)授業で学んだカウンセリングに関する知識を自身の将来や現在の活動にどのように活かしていけるかを考えるとともに、日々どのように話を聴く力を高めていくかを考えること。